

発行:小杉町3丁目東地区市街地再開発準備組合理事会

平成22年1月15日

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝きに満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

おかげさまで、昨年は再開発計画素案を作成し、都市計画手続きに向けた第一歩として、行政との事前相談を開始する運びとなりました。

今年も皆様のご意見を頂戴しながら、都市計画決定に向け、再開発の事業計画を確固たるものとするべく、各種検討を進めていくことを予定しております。

社会経済情勢は依然として厳しい環境にありますが、小杉に相応しいまちづくりの実現をめざし、鋭意取り組んで参りたいと考えております。

皆様の更なるご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

理事長 角川 榮喜

報告会を開催しました

昨年11月18日(金)に、再開発計画素案等についての報告会を開催し、本年度に入ってからの事業計画案検討の経緯、再開発計画素案の概要、今後のスケジュール等についての説明を行いました。

今後も報告会や勉強会等の機会を設け、皆様のご意見を事業計画案に反映して参りますので、どうぞご参加下さいますようお願い致します。



権利者ヒアリングを実施しました

昨年11月から12月にかけて、権利者の方々に第2回目の個別ヒアリングを実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。

伺いましたご意向をもとに、事業計画や施設計画案の検討を進めて参ります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

トピック

小杉町3丁目東地区周辺地域での都市開発事業も着々と進捗しています。今回は当地区に隣接する2地区の再開発事業の現況をご紹介します。

小杉町3丁目中央地区

小杉町3丁目中央地区第一種市街地再開発事業について、2009年10月9日、神奈川県から組合設立認可されたことを受け、同月20日に組合設立総会が開催されました。組合では平成22年度の権利変換計画認可、本体工事着工を目指しています。

再開発ビルは分譲住宅棟、賃貸住宅棟、業務・商業棟の3棟建設予定で、総延床面積約77,000㎡、総戸数約590戸。特定業務代行者として清水建設・野村不動産・相鉄不動産で構成するグループが参画、清水建設がビル建設を、野村不動産と相鉄不動産が保留床を取得します。（都市計画情報第2102号より）



武蔵小杉駅南口地区西街区

武蔵小杉駅南口地区西街区では、昨年秋より地中にある既存躯体の解体工事が始まっています。撮影した1月14日には鉄筋コンクリート製の杭を抜く作業が行われていました。（撮影：当事務所より）なお、西街区では昨年秋より特定業務代行者の公募が行われており、まもなく決定される模様です。



①杭より少し太い鋼管（削孔ケーシング）を杭にかぶせ、ねじり込んで杭の周りの土を取り除く



②杭の先までねじり込んだら杭の先にワイヤーを取り付け引っ張りあげる



③杭を5m程に折りながら最後まで引っ張りあげて終了